様式 ５４

特定供給設備の技術上の基準に関する説明書

（バルク供給を除く）

|  |  |
| --- | --- |
| 特定供給設備所在地 |  |
| 貯蔵能力 | Ｋｇ |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項 目 | 条 項 | 対応事項 | | | |
| 保安距離 | 規則53条  １号 イ  ２号 イ |  | 法　　定 | 実　　際 | 緩和の必要性 |
| 第１種 | ｍ | ｍ | 有 無 |
| 第２種 | ｍ | ｍ |
| 保安距離緩和 | １号 ロ  ２号 ロ | 障　壁 □ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ □ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ  　　　 □ その他（ ） ※ 図面添付  □ 地盤面下に埋設 | | | |
| 火 気 | １号 ハ  ２号 ホ | □ 無  火気との距離 ｍ 隔壁  □ 有 ※ 図面添付 | | | |
| 滞留防止措置 | １号 ニ | 必要面積( )㎡ ※ 図面添付  換気口  実際面積( )㎡ ( )％ | | | |
| さく・へい等 | １号 ホ  ２号 ト | □ ボンベ小屋 □ フェンス  構　造  □ その他（ ） ※ 図面添付 | | | |
| 警戒標 | １号 へ | □ ＬＰガス特定供給設備  □ 燃 □ 火気厳禁 □ 販売所の名称 | | | |
| 防消火設備 | １号 ト  ２号 ム | 消火器 （Ａ－ Ｂ－ ） 本  □ 散水設備 ※ 図面添付 | | | |
| 屋根又は遮へい板 | １号 チ | 材料（ ） 　 ※ 図面添付 | | | |
| 転落転倒防止 | １号 リ | 方法（ ） | | | |
| 容器腐しょく防止 | １号 ヌ | □ 排水の良い場所に設置 | | | |
| 保安物件の密集 | ２号 ハ | □ 貯槽を地盤面下に埋設。 | | | |
| 貯槽地下埋設 | ２号 ニ | □ 貯槽室 　□ 乾燥砂 □ 水没 □ 強制換気  □ その他（ ）  □ 貯槽の頂部は３０㎝以上地盤面から下にある  こと。  □ 貯槽間距離（ ｍ） | | | |
| 貯槽間距離 | ２号 ヘ |  | 法　　定 | 実　　際 | 緩和の必要性 |
| 距　離 | ｍ | ｍ | 有　 無 |
| □ 水噴霧装置 | | | |
| 表　　　　　　　示 | ２号 チ | □ 液化石油ガスである旨の表示。 | | | |
| 使用材料 | ２号 リ | □ 使用材料は適正なものであること。 | | | |
| 腐しょく・割れ等 | ２号 ヌ | □ 貯槽には使用上支障のある腐しょく、割れ等  がないこと。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 腐しょく防止措置 | | ２号 ル | 腐しょく防止の方法（ ） | | |
| 不同沈下の防止 | | ２号 ヲ | □ 貯槽の基礎は、不同沈下等により有害なひず  みが生じないものであること。  □ 同一の基礎に緊結。 | | |
| 耐圧・気密 | | ２号 ワ | □ 貯槽は、常用の圧力の 1.5倍以上の圧力で行  　 う耐圧試験及び常用の圧力以上の圧力で行う  気密試験に合格するものであること。 | | |
| 肉 厚 | | ２号 カ | □ 貯槽は、常用の圧力の２倍以上の圧力で降伏  　 を起こさないような肉厚を有するものである  こと｡ | | |
| 圧力計・安全弁 | | ２号 ヨ | □ 圧力計・安全弁の設置 | | |
| 放出管開口部 | | ２号 タ | □ 周囲に着火源等のない安全な位置であること｡  □ 地盤面から（ ）ｍ  □ 貯槽の頂部から（ ）ｍ | | |
| 液面計 | | ２号 レ | 液面計の種類（ ）  □ 破損防止措置  □ 自動式及び手動式の止め弁の設置 | | |
| バルブ | | ２号 ソ | □ ２以上のバルブを設け、一は貯槽の直近に設  　 けること。 | | |
| 緊急遮断装置 | | ２号 ツ | 操作場所（ ）距離 ｍ | | |
| 冷却用散水装置 | | ２号 ネ | □ 冷却用散水装置の設置  操作位置距離 ｍ 　 ※図面計算書添付 | | |
| 漏えい検知警報器 | | ２号 ナ | 検知箇所 箇所 　　　※図面添付 | | |
| 静電気の防止 | | ２号 ラ | □ 貯槽には、静電気を除去する措置を講ずるこ  と。 | | |
| バルブ操作 | | ２号 ウ | □ 開閉方向の明示  □ 開閉状況の明示  □ 流体方向の明示 | | |
| 耐震設計 | | ２号 ヰ | □ 耐震設計の基準により、地震の影響に対して  安全な構造とすること。 | | |
| 自動切替装置 | | ３号 | □ 自動切替調整器 □ その他（ ） | | |
| 発生能力等 | | １８条  ４号 | □ 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであ  　 ること。  □ 気化装置及び調整器は最大消費数量に対応で  　 きる能力があること。（規格は別表） | | |
| 腐しょく・割れ等 | | ５号 | □ バルプ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用  上支障のある腐しょく・割れ等がないもので  あること。 | | |
| 腐しょく防止措置 | | ６号 | 名　称 | 使用材料 | 腐しょく防止の方法 |
| バルブ |  |  |
| 集合管 |  |  |
| 供給管 |  |  |
| 継手類 |  |  |
| 使用材料 | | ７号 | 前表のとおり | | |
| 耐圧性能 | 高圧側 | ８号 イ | □ ２．６MPa以上であるもの | | |
| 中圧側 | ８号ロハ | □ ０．８MPa以上であるもの | | |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 引張り強さ | ８号 ニ | | □ １ＫＮ以上であるもの | | | |
| 集合装置等の修理 | 8号の2 | イロハ | □漏えい防止措置を講ずること。  □漏えいしていないことを確認をすること。  □修理終了後、漏えい確認をすること。 | | | |
| 漏えい試験 | １０号 | | □ 漏えい試験に合格するもの | | | |
| 気化装置 | 19号 | イ | □ 腐しょく、割れ等がないもの | | | ※  図  面  別  添 |
| ロ | □ ２．６MPaの耐圧試験に合格するもの | | |
| ハ | □ 加熱方式（ ） | | |
| ニ | □ 液状のガス流出防止措置のあるもの | | |
| ホ | □ 凍結防止措置のあるもの | | |
| 調整器  （２次側 有 ・ 無 ） | 20号 | イ | □ 腐しょく、割れ等がなく使用する液器石油ガ  スの規格に適合したものであること。 | | | |
| ロ | 使用箇所 | 耐圧試験圧力 | 気密試験圧力 | |
| １次側 | □ ２．６MPa | □ １．５６MPa | |
| ２次側 | □ ０．８MPa | □ ０．１５MPa | |
| ハ | □ 調整圧力 　 　　　KPa ～ 　　　KPa  □ 閉そく圧力 KPa | | | |
| 緊急遮断装置 | 21号 | | □ 供給管と接続した貯蔵施設ごとに、これに近  　 接して緊急遮断装置を設置すること。  　　※図面添付 | | | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備の種類 | | 規格等 | | |
| 貯蔵設備 | 容 器 | 設置数量 （ 　）Kg容器 × （ ）本  （ 　）Kg容器 × （ ）本 | | |
| 貯 槽 | 公称貯蔵量（ ）ﾄﾝ 設計圧力（ ）MPa  内容積 （ ）ｍ３ 製造番号（ ）  ※図面添付 | | |
| 消　　　火　　　器 | | 型式（ ） 処理能力（ ）Kg／Ｈ  製造番号（ ） 製造年月（ ）年（ ）月 | | |
| 調整器 | | 区　　分 | １次側 | ２次側 |
| 型　　　　式 |  |  |
| 処理能力 | Kg／Ｈ | Kg／Ｈ |
| 製造年月 | 年 月 | 年 月 |

（記載要領）

１．該当しない欄は抹消すること。

２．対応事項は、必要によって別紙に説明書を添付すること。

３．該当する□には∨を付し、（ ）には数値又は説明を記入すること。